

図 解 交通年鑑

(平成28年版)



TOTTORI POLICE

鳥 取 県 警 察 本 部



用語の意味

- 1 「交通事故」とは、道路交通法第2条第1項第1号に規定する道路において、車両等及び列車の交通によって起こされた事故で、人の死傷を伴うもの（人身事故）をいう。
 - 2 「死亡」（「死者」）とは、交通事故の発生から24時間以内に亡くなった場合（人）をいう。
 - 3 「負傷」（「負傷者」）とは、交通事故によって負傷し、治療を要する場合（人）をいう。
なお、負傷の程度の判断は医師の診断に基づく。
 - 4 「第1当事者」とは、交通事故に関係した者のうち、過失が最も重い者、又は過失が同程度の場合は損傷が最も軽い者をいう。
 - 5 「高齢者」とは65歳以上の者、「若者」とは16歳以上25歳未満の者、「子ども」とは中学生以下の者をいう。
 - 6 「事故類型」とは、当事者の行動又は事故誘発行為をもって決定する事故の形態（人対車両、車両相互、車両単独等）をいう。
 - 7 「状態別」とは、当事者の事故当時の状態（運転中、同乗中、歩行中等）をいう。
- * 構成率等については、単位未満を四捨五入してあるため、表中、文中での数値が一致しない場合がある。

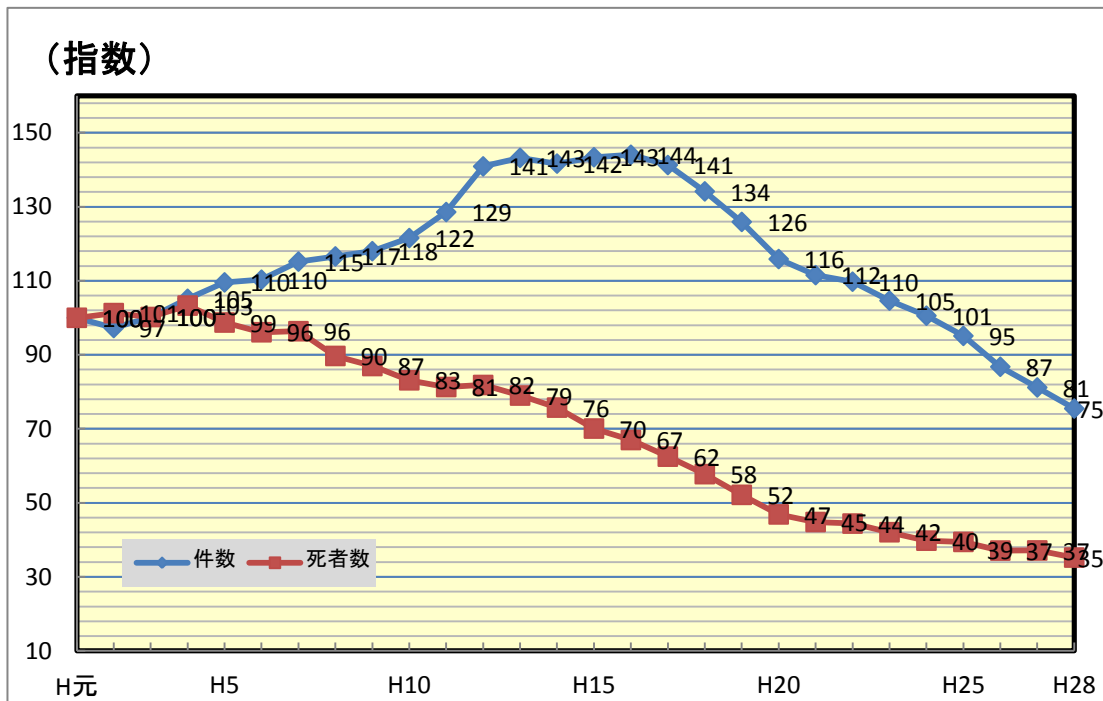
目 次

1	全国の交通事故	1
(1)	全国の交通事故の推移	1
(2)	都道府県別交通事故死者数	2
2	鳥取県の交通事故	3
(1)	鳥取県の交通事故の推移	3
(2)	市町村別発生状況及び人口1万人当たりの発生率	4
(3)	月別発生状況	5
(4)	曜日別発生状況	5
(5)	時間別・昼夜別発生状況	6
(6)	道路別発生状況	7
(7)	事故類型別発生状況	7
(8)	年齢層別死傷者数	8
(9)	状態別死傷者数	8
3	子どもの交通事故	9
(1)	子どもの交通事故の推移	9
(2)	学齢別死傷者数	9
(3)	状態別死傷者数	10
4	高齢者の交通事故	11
(1)	高齢者の交通事故の推移	11
(2)	状態別死傷者数	11
(3)	男女別死傷者数	12
(4)	高齢者（第1当）事故件数	12
5	歩行者の交通事故	13
(1)	歩行者の交通事故の推移	13
(2)	年齢層別死傷者数	13
(3)	事故類型別死傷者数	14
(4)	歩行者の違反別死傷者数	14
6	自転車の交通事故	15
(1)	自転車の交通事故の推移	15
(2)	年齢層別死傷者数	15
(3)	事故類型別死傷者数	16
(4)	自転車の違反別死傷者数	16
7	二輪車（自動二輪・原付）の交通事故	17
(1)	二輪車の交通事故の推移	17
(2)	年齢層別死傷者数（二輪車乗車中）	17
(3)	事故類型別死傷者数	18
(4)	二輪車の違反別死傷者数	18
8	交通死亡事故発生状況	18
(1)	年齢層別・状態別死者数	19
(2)	第1当事者の年齢層別・状態別件数	19
(3)	第1当事者の状態別・違反別件数	20
(4)	路線別・道路形状別件数	20

1 全国の交通事故

(1) 全国の交通事故の推移

全国の発生件数及び負傷者数は12年連続で減少したが、死者数は3,904人で昭和24年
以来の3千人台となった。



(注) 指数は、平成元年を100とする。

区分 年別	件 数	死 者 数	負 傷 者 数	区分 年別	件 数	死 者 数	負 傷 者 数
昭和47年	659,283	15,918	889,198	6	729,461	10,653	881,723
48	586,713	14,574	789,948	7	761,794	10,684	922,677
49	490,452	11,432	651,420	8	771,085	9,943	942,204
50	472,938	10,792	622,467	9	780,401	9,642	958,925
51	471,041	9,734	613,957	10	803,882	9,214	990,676
52	460,649	8,945	593,211	11	850,371	9,012	1,050,399
53	464,037	8,783	594,116	12	931,950	9,073	1,155,707
54	471,573	8,466	596,282	13	947,253	8,757	1,181,039
55	476,677	8,760	598,719	14	936,950	8,396	1,168,029
56	485,578	8,719	607,346	15	948,281	7,768	1,181,681
57	502,261	9,073	626,192	16	952,720	7,436	1,183,617
58	526,362	9,520	654,822	17	934,346	6,937	1,157,113
59	518,642	9,262	644,321	18	887,267	6,415	1,098,564
60	552,788	9,261	681,346	19	832,704	5,796	1,034,652
61	579,190	9,317	712,330	20	766,394	5,209	945,703
62	590,723	9,347	722,179	21	737,637	4,979	911,215
63	614,481	10,344	752,845	22	725,924	4,948	896,297
平成元年	661,363	11,086	814,832	23	692,084	4,691	854,613
2	643,097	11,227	790,295	24	665,157	4,438	825,392
3	662,392	11,109	810,245	25	629,033	4,388	781,492
4	695,346	11,452	844,003	26	573,842	4,113	711,374
5	724,678	10,945	878,633	27	536,899	4,117	666,023
				28	499,201	3,904	618,853

(2)都道府県別交通事故死者数

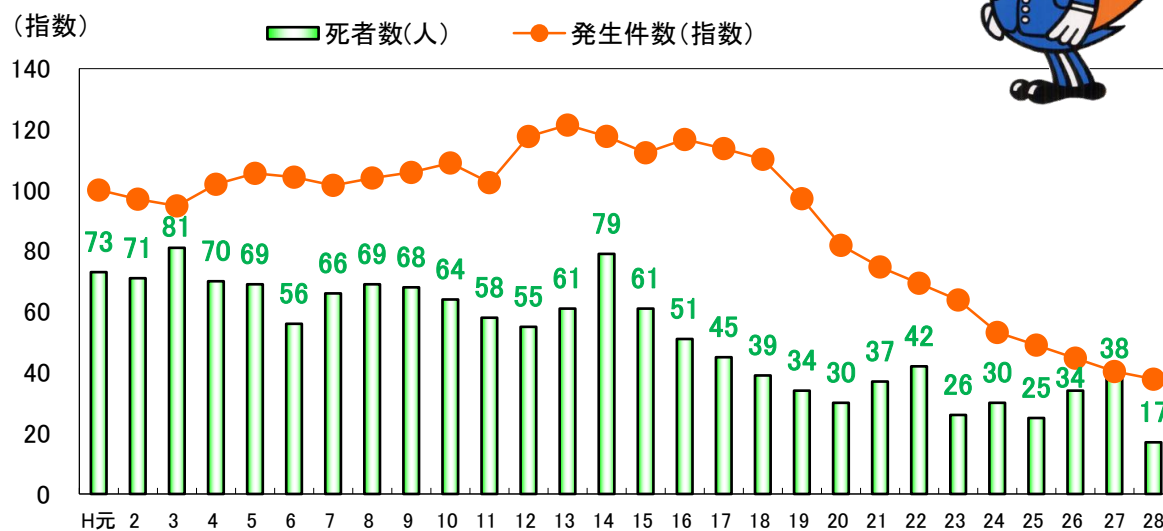
	都道府県	死者数	人口 当り	順位	車両台数 当り	順位	免許人口 当り	順位	道路実延長 当り	順位	走行台* _ロ 当り	順位
	北海道	158	2.936	37	0.387	33	0.467	32	1.749	45	0.603	43
	青森	53	4.051	22	0.469	18	0.622	16	2.657	32	0.743	31
東	岩手	73	5.705	6	0.620	7	0.869	4	2.191	42	0.889	15
	宮城	71	3.042	32	0.377	37	0.460	35	2.844	30	0.671	38
	秋田	54	5.278	10	0.591	9	0.793	9	2.263	40	0.763	28
北	山形	28	2.491	42	0.266	47	0.363	43	1.679	46	0.374	47
	福島	90	4.702	12	0.492	16	0.688	13	2.301	37	0.784	23
東	東京	159	1.176	47	0.315	44	0.203	47	6.571	2	0.985	9
	茨城	150	5.142	11	0.535	12	0.729	11	2.678	31	0.934	12
	栃木	76	3.850	25	0.403	32	0.542	27	3.004	24	0.677	37
関	群馬	62	3.142	31	0.318	43	0.438	37	1.772	44	0.618	42
	埼玉	151	2.078	44	0.333	42	0.323	44	3.212	21	0.875	17
	千葉	185	2.973	35	0.462	19	0.461	33	4.559	7	1.143	1
	神奈川	140	1.534	46	0.298	46	0.249	46	5.467	4	0.986	8
	新潟	107	4.644	13	0.516	13	0.680	14	2.845	29	0.777	24
東	山梨	35	4.192	17	0.411	30	0.588	23	3.119	23	0.805	22
	長野	121	5.765	5	0.575	10	0.813	7	2.522	34	1.052	4
	静岡	137	3.702	28	0.427	27	0.534	29	3.711	17	0.882	16
	富山	60	5.627	7	0.626	5	0.801	8	4.319	8	0.970	10
中	石川	48	4.159	18	0.504	14	0.616	18	3.671	19	0.731	32
	福井	51	6.482	2	0.718	1	0.939	1	4.683	6	1.038	5
	岐阜	90	4.429	15	0.503	15	0.634	15	2.933	28	0.772	26
部	愛知	212	2.833	38	0.380	36	0.417	41	4.229	10	0.858	18
	三重	100	5.507	9	0.596	8	0.790	10	3.950	13	0.957	11
	滋賀	53	3.751	26	0.457	22	0.552	26	4.244	9	0.768	27
近	京都	60	2.299	43	0.357	39	0.378	42	3.867	14	0.744	30
	大阪	161	1.821	45	0.356	40	0.315	45	8.271	1	1.002	7
	兵庫	152	2.746	40	0.428	24	0.438	37	4.169	12	0.847	19
畿	奈良	47	3.445	30	0.473	17	0.523	30	3.709	18	0.922	14
	和歌山	40	4.151	19	0.428	24	0.594	21	2.941	27	0.813	21
	鳥取	17	2.965	36	0.334	41	0.444	36	1.922	43	0.398	46
中	島根	28	4.033	23	0.461	21	0.606	20	1.534	47	0.579	45
	岡山	79	4.111	20	0.455	23	0.608	19	2.453	35	0.773	25
国	広島	86	3.024	33	0.387	33	0.461	33	2.960	26	0.730	33
	山口	64	4.556	14	0.538	11	0.690	12	3.855	15	0.749	29
四	徳島	49	6.484	1	0.707	2	0.930	2	3.233	20	1.019	6
	香川	61	6.248	3	0.672	3	0.898	3	5.932	3	1.133	2
	愛媛	77	5.559	8	0.629	4	0.827	6	4.214	11	1.120	3
国	高知	42	5.767	4	0.624	6	0.863	5	2.990	25	0.932	13
	福岡	143	2.803	39	0.384	35	0.436	39	3.808	16	0.826	20
九	佐賀	35	4.203	16	0.462	19	0.618	17	3.202	22	0.647	40
	長崎	41	2.977	34	0.372	38	0.476	31	2.275	39	0.622	41
	熊本	67	3.751	26	0.424	28	0.561	25	2.583	33	0.727	34
	大分	42	3.601	29	0.405	31	0.540	28	2.289	38	0.580	44
	宮崎	45	4.076	21	0.428	24	0.591	22	2.234	41	0.690	36
州	鹿児島	65	3.944	24	0.419	29	0.581	24	2.388	36	0.721	35
	沖縄	39	2.720	41	0.312	45	0.418	40	4.807	5	0.670	39
	合 計	3,904	3.072		0.426		0.475		3.203		0.820	

- 注1 「人口当り」は10万人当りの死者数で、算出の基礎となった人口は総務省の平成27年国勢調査結果である。
- 2 「車両台数当り」は1万台当りの死者数で、算出の基礎となった車両台数は平成28年10月末現在の国土交通省資料による。
- 3 車両台数に含まれている「原付台数」「小特」（ミニカーを含む。）は平成27年4月1日現在の総務省資料による。
- 4 「免許人口当り」は1万人当りの死者数で、算出の基礎となった免許人口は平成28年12月末現在である。
- 5 「道路延長当り」は1000km当りの死者数で、算出の基礎となった道路延長は平成26年4月1日現在の国土交通省資料による。
- 6 「走行台*_ロ当り」は1億走行台*_ロ当りの死者数で、平成22年道路交通センサスによる路線（一般道路計）の走行台*_ロから算出。

2 鳥取県の交通事故

(1) 鳥取県の交通事故の推移

死者数は17人で、昭和24年の9人以来2番目に少ない。
発生件数及び負傷者数は12年連続して減少した。



(注) 指数は、平成元年を100とする。

区分 年別	死 者 数	区分 年別	死 者 数	区分 年別	件 数	死 者 数	負 傷 者 数
昭和23年	27	46	134	平成6年	2,724	56	3,070
24	9	47	120	7	2,654	66	2,970
25	18	48	109	8	2,717	69	3,103
26	24	49	72	9	2,765	68	3,075
27	31	50	89	10	2,846	64	3,217
28	21	51	90	11	2,677	58	3,413
29	32	52	61	12	3,074	55	3,943
30	38	53	54	13	3,172	61	4,152
31	42	54	52	14	3,075	79	4,051
32	34	55	61	15	2,934	61	3,772
33	45	56	57	16	3,048	51	3,992
34	60	57	71	17	2,970	45	3,905
35	38	58	69	18	2,878	39	3,698
36	63	59	61	19	2,539	34	3,236
37	49	60	60	20	2,138	30	2,733
38	55	61	58	21	1,952	37	2,439
39	50	62	53	22	1,812	42	2,273
40	85	63	50	23	1,668	26	2,076
41	87	平成元年	73	24	1,389	30	1,658
42	104	2	71	25	1,280	25	1,619
43	106	3	81	26	1,168	34	1,396
44	112	4	70	27	1,053	38	1,250
45	117	5	69	平成28年	987	17	1,243

(2) 市町村別発生状況及び人口1万人当たりの発生率

	発生件数		死者数		負傷者数		人口*	第一当居住地別	
		1万人当り		1万人当り		1万人当り		発生件数	1万人当り
岩美町	10	8.8	1	0.9	12	10.6	11,343	20	17.6
鳥取市	341	17.7	5	0.3	423	22.0	192,658	284	14.7
八頭町	18	10.8	0	0.0	22	13.2	16,687	24	14.4
若桜町	2	6.2	0	0.0	2	6.2	3,209	7	21.8
智頭町	7	10.0	0	0.0	9	12.8	7,031	5	7.1
湯梨浜町	35	21.4	0	0.0	43	26.3	16,347	32	19.6
三朝町	6	9.4	0	0.0	6	9.4	6,393	16	25.0
倉吉市	95	19.6	1	0.2	121	24.9	48,558	84	17.3
北 栄 町	33	22.4	1	0.7	46	31.3	14,718	24	16.3
琴浦町	28	16.3	1	0.6	38	22.1	17,187	24	14.0
大山町	27	16.6	1	0.6	42	25.8	16,308	26	15.9
日吉津村	6	17.3	0	0.0	8	23.1	3,459	7	20.2
米子市	300	20.1	5	0.3	378	25.3	149,178	240	16.1
南部町	8	7.4	0	0.0	8	7.4	10,874	13	12.0
境港市	40	11.8	1	0.3	48	14.2	33,809	45	13.3
伯耆町	20	18.1	0	0.0	24	21.7	11,045	15	13.6
江府町	3	10.2	0	0.0	5	16.9	2,950	6	20.3
日野町	1	3.1	0	0.0	1	3.1	3,188	4	12.5
日南町	7	15.1	1	2.2	7	15.1	4,637	6	12.9
合計	987	17.3	17	0.3	1,243	21.8	569,579	882	15.5

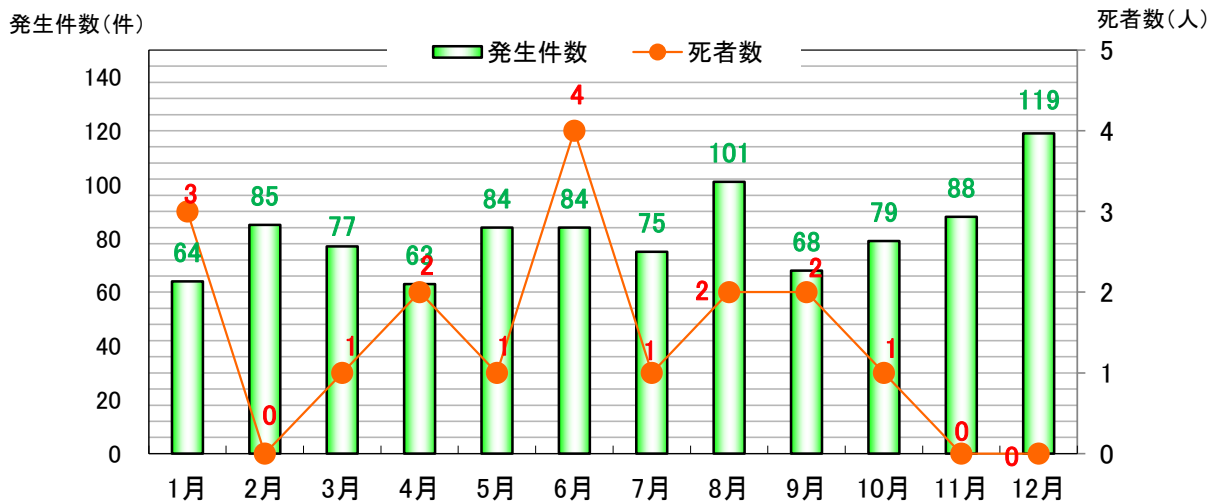
* 人口は、鳥取県地域振興部統計課資料「鳥取県年齢別推計人口(平成28年10月1日現在)」による。

県外者	100
不 明	5
総計	987

(3) 月別発生状況

発生件数は12月が119件と最も多く、4月が63件と最も少ない。

死者数は6月が4人と最も多く、次いで1月が3人である。



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
発生件数	64	85	77	63	84	84	75	101	68	79	88	119	987
死者数	3		1	2	1	4	1	2	2	1			17
負傷者数	73	101	93	76	118	111	96	139	80	98	114	144	1,243

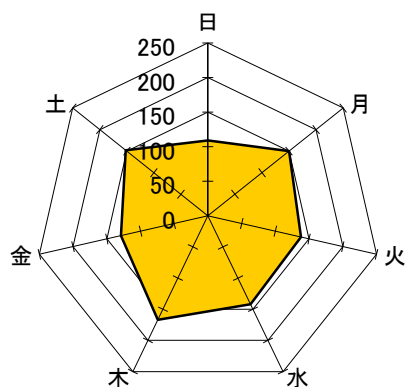
(4) 曜日別発生状況

発生件数は木曜日が167件と最も多く、日曜日が109件と最も少ない。

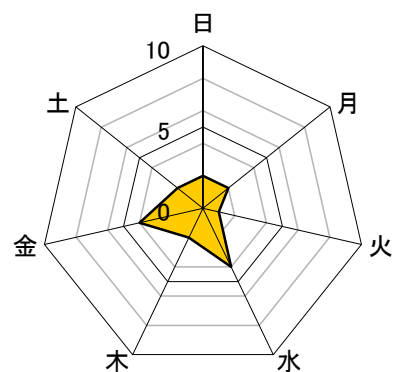
死者数は水曜日、金曜日が4人と最も多く、火曜日が1人と最も少ない。

負傷者数は木曜日が213人と最も多く、日曜日が147人と最も少ない。

【曜日別発生件数】



【曜日別死者数】



	日	月	火	水	木	金	土	合計
発生件数	109	150	138	142	167	129	152	987
死者数	2	2	1	4	2	4	2	17
負傷者数	147	201	173	152	213	154	203	1,243

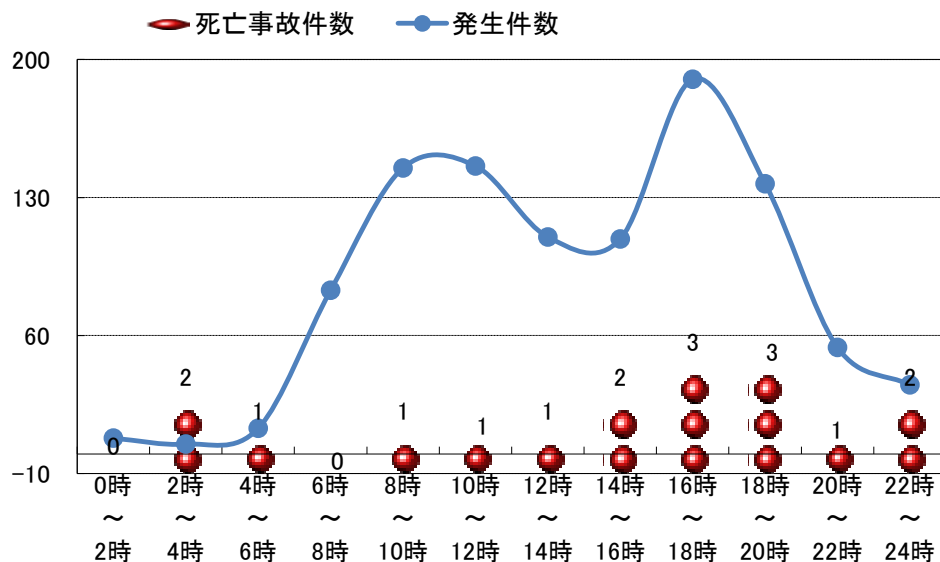
(5) 時間別・昼夜別発生状況

ア 時間別

発生件数は、16時～18時に188件と最も多く発生している。

死亡事故は16時～20時に多く発生している。

(件数)

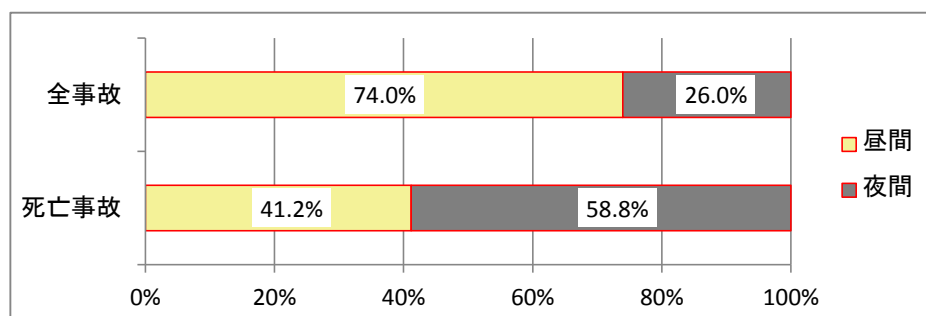


発生時間	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	合計
発生件数	8	5	4	70	120	128	125	123	188	129	58	29	987
死亡事故件数		2	1		1	1	1	2	3	3	1	2	17

イ 昼夜別

全事故の74.0%が昼間に発生している。

死亡事故は、夜間の発生が58.8%と高い。

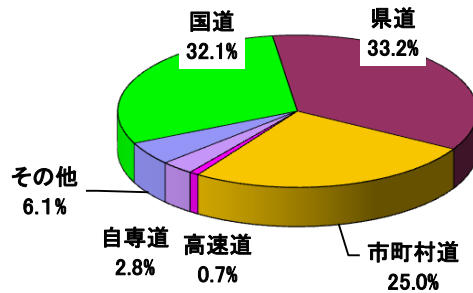


	昼間	夜間	合計
全事故件数	730	257	987
死亡事故件数	7	10	17

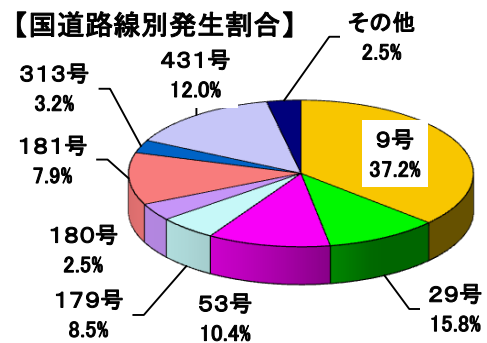
(6) 道路別発生状況

県道での発生が多い。
国道では、国道9号が多い。

【道路別発生割合】



【国道路線別発生割合】



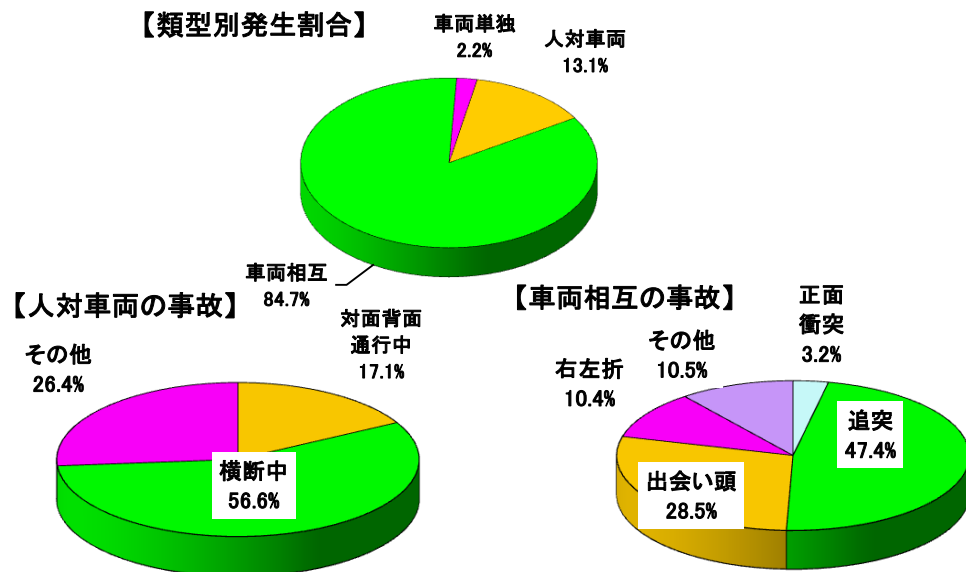
	国 道									計
	9号	29号	53号	179号	180号	181号	313号	431号	その他	
発生件数	118	50	33	27	8	25	10	38	8	317

	高速道	自専道	県道			市町村道	その他	合計
			主要	一般	計			
発生件数	7	28	127	201	328	247	60	987

(7) 事故類型別発生状況

人対車両では、道路横断中が多い。
車両相互では、追突が多い。

【類型別発生割合】



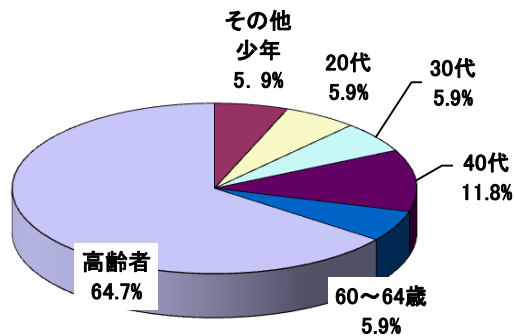
	人 対 車 両			車 両 相 互					車両単独		列車	合計
	対面 背面 通行中	横断中	その他	正面 衝突	追突	出会い頭	右左 折時	その他	工作物 衝突	その他		
発生件数	22	73	34	27	396	238	87	88	11	11		987
総数	129			836					22			987

(8) 年齢別死傷者数

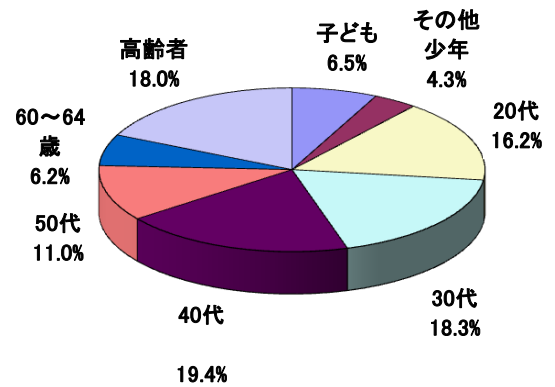
死者数は、高齢者が占める割合が高い。

負傷者数は、40代の占める割合が高い。

【年齢層別死者の割合】



【年齢層別負傷者の割合】



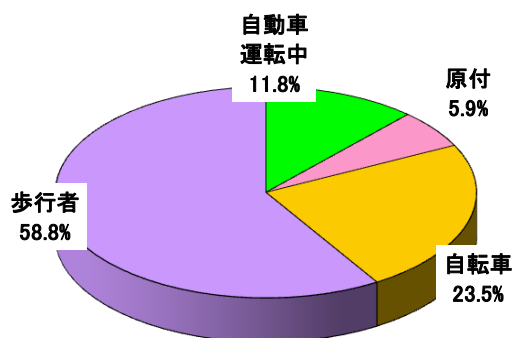
	子ども	その他少年	20代	30代	40代	50代	60～64歳	高齢者	合計
死者数		1	1	1	2		1	11	17
負傷者数	81	54	201	228	241	137	77	224	1,243

※ 子どもは、中学生以下

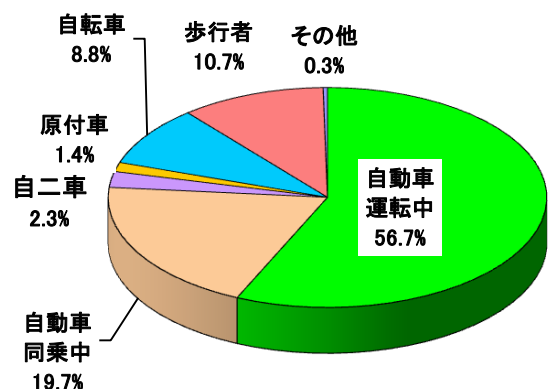
(9) 状態別死傷者数

死者数は歩行者が多く、負傷者数は自動車運転中の割合が高い。

【状態別死者の割合】



【状態別負傷者の割合】



	自動車		自二車		原付車		自転車		歩行者	その他	合計
	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗			
死者数	2				1		4		10		17
負傷者数	705	245	29		17		110		133	4	1,243

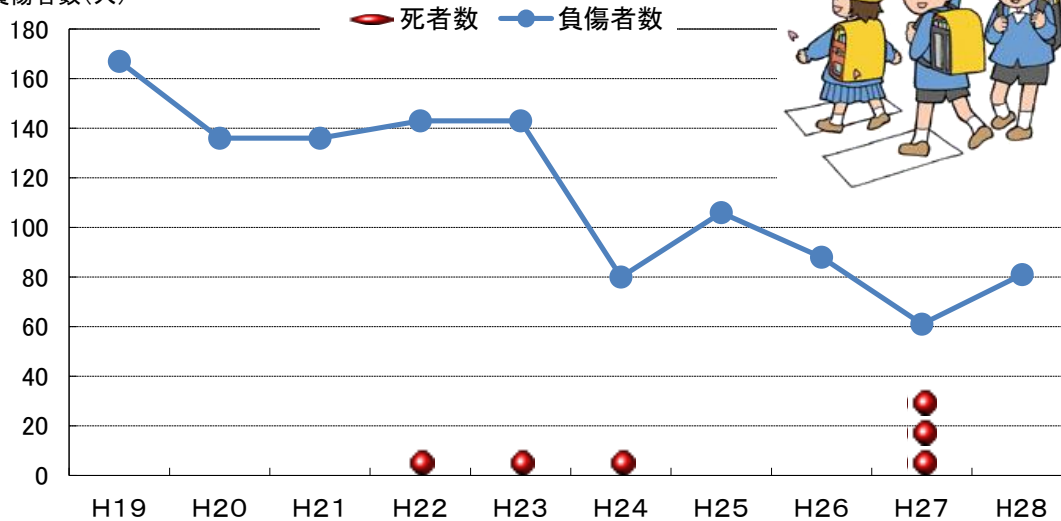
3 子どもの交通事故

(1) 子どもの交通事故の推移

負傷者数は、81人で前年より20人増加した。

子どもが死亡する事故の発生はなかった。

負傷者数(人)

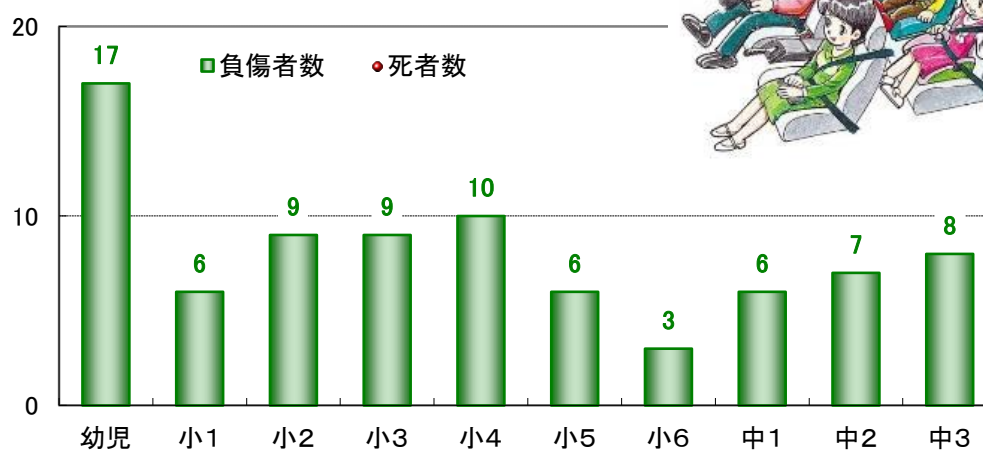


	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
死者数					1	1			3	
負傷者数	203	167	136	136	143	80	106	88	61	81

注:子どもとは、中学生以下

(2) 学年別死傷者数

(人)



	幼児	小学生						中学生			合計
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	
死者数											0
負傷者数	17	6	9	9	10	6	3	6	7	8	81

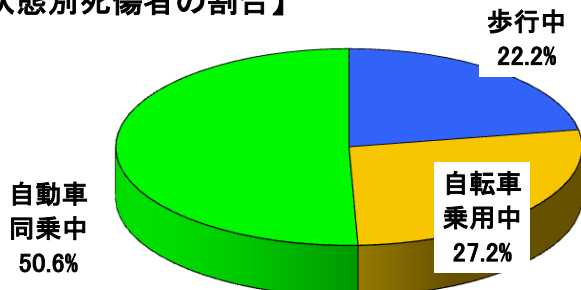
(3) 状態別死傷者数

自動車同乗中が全体の50.6%で最も多い。

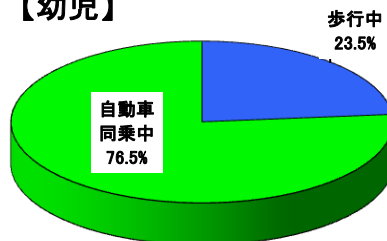
幼児は、自動車同乗中が76.5%で最も多い。

小学生は、自動車同乗中が53.5%で最も多く、中学生は、自転車乗用中が66.7%で最も多い。

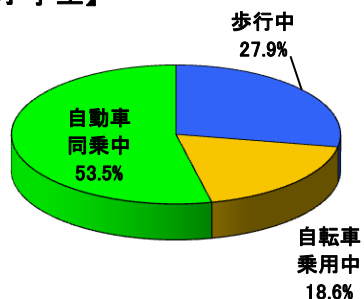
【状態別死傷者の割合】



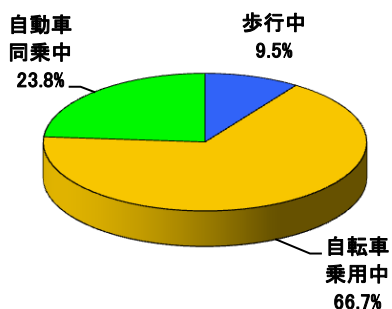
【幼児】



【小学生】



【中学生】

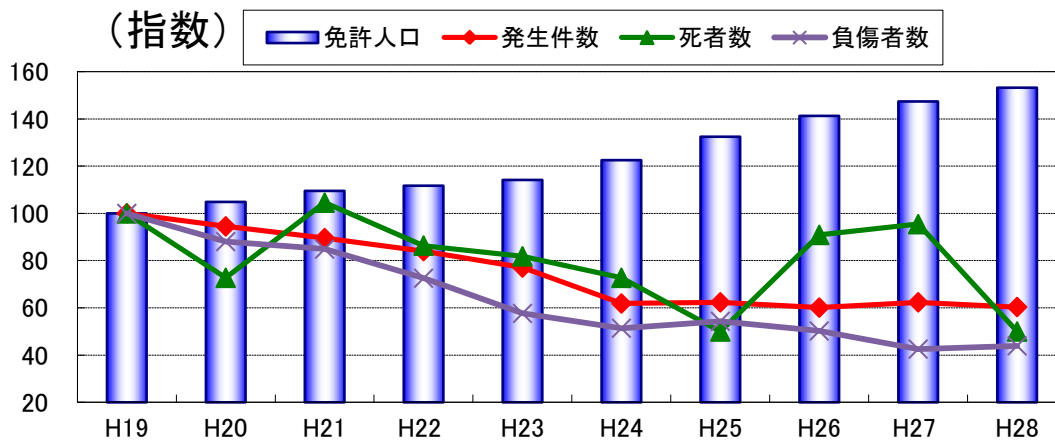


		歩行者	自転車		自動車		二輪車		その他	合 計
			運転中	同乗中	運転中	同乗中	運転中	同乗中		
死者数	幼児									0
	小学1～3									0
	小学4～6									0
	中学生									0
	計	0	0	0	0	0	0	0		0
負傷者数	幼児	4				13				17
	小学1～3	8	4			12				24
	小学4～6	4	4			11				19
	中学生	2	14			5				21
	計	18	22	0		41	0	0	0	81

4 高齢者の交通事故

(1) 高齢者の交通事故の推移

高齢者の死者数は平成27年より10人減少したが、全死者に占める高齢者の割合は64.7%と高率であった。高齢者が第1当事者となった事故は前年より8件減少したが、割合は24.5%で過去10年で最も高い。高齢者の免許人口は年々増加し、平成19年の約1.5倍。



※ 発生件数は高齢者が第1当事者の事故件数。指数は平成19年を100とする。

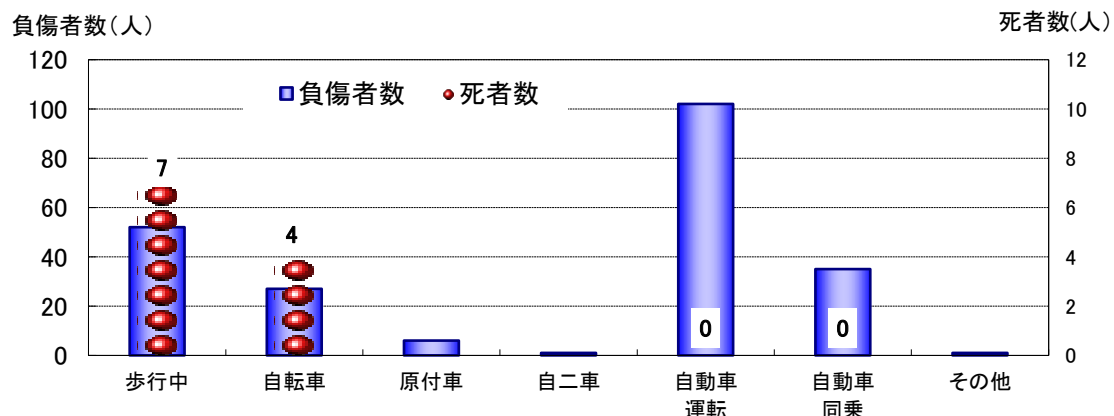
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
発生件数	401	379	359	337	309	248	250	241	250	242
死者数	22	16	23	19	18	16	11	20	21	11
負傷者数	510	449	433	370	294	262	277	256	217	224
高齢者免許人口	61,063	64,029	66,881	68,218	69,711	74,822	80,882	86,272	90,002	93,560
割合	発生件数	15.8%	17.7%	18.4%	18.6%	18.5%	17.9%	19.5%	20.6%	23.7%
	死者数	64.7%	53.3%	62.2%	45.2%	69.2%	53.3%	44.0%	58.8%	55.3%
	負傷者数	15.8%	16.4%	17.8%	16.3%	14.2%	15.8%	17.1%	18.3%	17.4%

※ 割合は、全年齢に対する高齢者の割合

(2) 状態別

高齢者の死者数は、歩行中が7人で最も多く63.6%を占める。

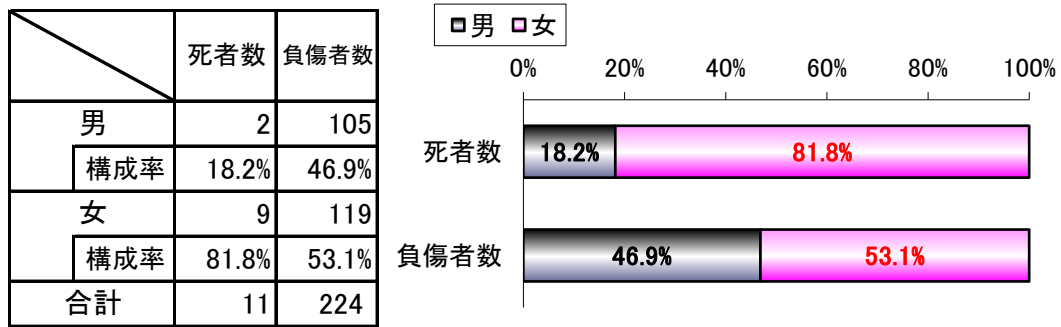
負傷者数は、自動車運転中が45.5%で最も多い。



	歩行中	自転車乗車中	原付乗車中	自二車乗車中	自動車運転中	自動車同乗中	その他	合計
死者数	7	4						11
構成率	63.6%	36.4%						100%
負傷者数	52	27	6	1	102	35	1	224
構成率	23.2%	12.1%	2.7%	0.4%	45.5%	15.6%	0.4%	100%

(3) 男女別死傷者数

死者、負傷者ともに女性が多い。

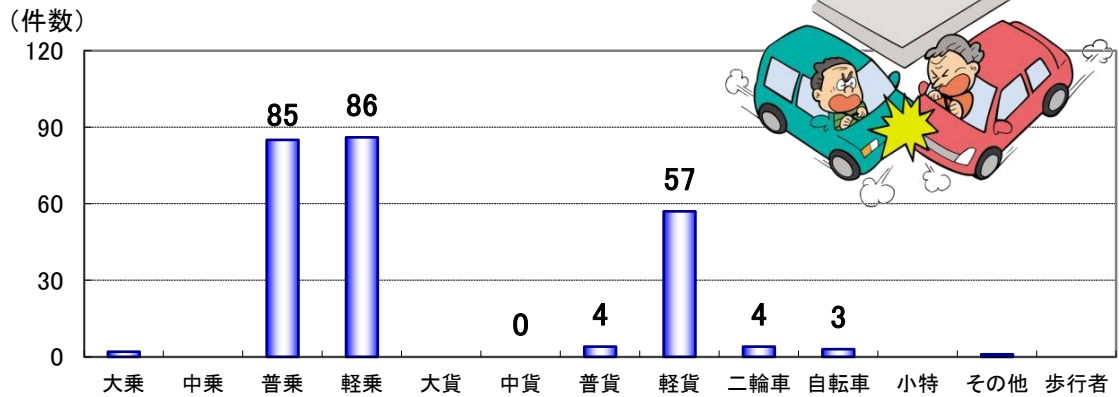


(4) 高齢者(第1当)事故件数

事故の車種別では、軽四輪乗用自動車が多く、次いで普通乗用自動車、軽四輪貨物自動車の順となっている。

男女別では、男性が多い。

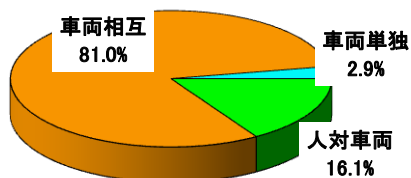
事故類型別では、出会い頭が最も多い。



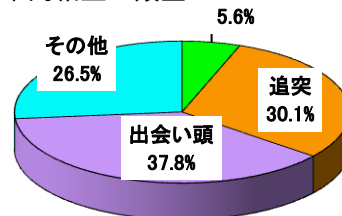
ア 第1当事者車種別・男女別

	大型乗用	中型乗用	普通乗用	軽四乗用	大型貨物	中型貨物	普通貨物	軽四貨物	自二車(含原付)	自転車	小特	その他	歩行者	合計
発生件数	2		85	86			4	57	4	3		1		242
男	2		63	51			4	50	3	2		1		176
女			22	35				7	1	1				66

イ 事故類型別



ウ 車両相互の類型

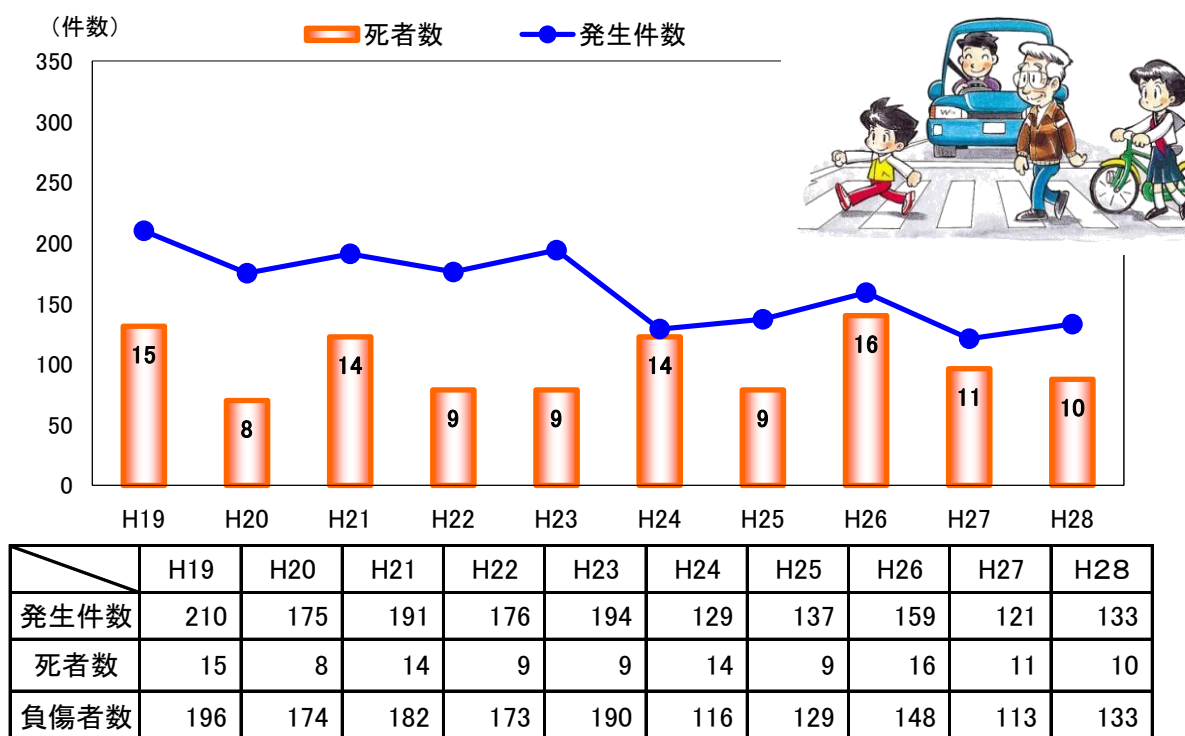


	人対車両		車両相互				単独	踏切	合計
	横断中	その他	正面衝突	追突	出会い頭	その他			
発生件数	19	20	11	59	74	52	7		242

5 歩行者の交通事故

(1) 歩行者の交通事故の推移

発生件数は133件で平成27年より12件増加したが、死者数は1名減少した。

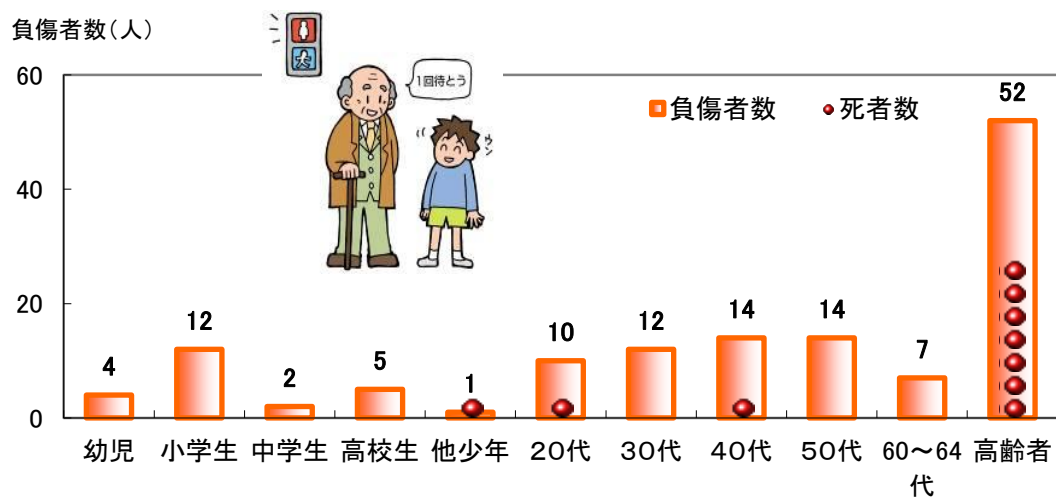


※ 発生件数は、歩行者が当事者となった交通事故の件数

※ 死者数、負傷者数は歩行者の人数

(2) 年齢層別死傷者数

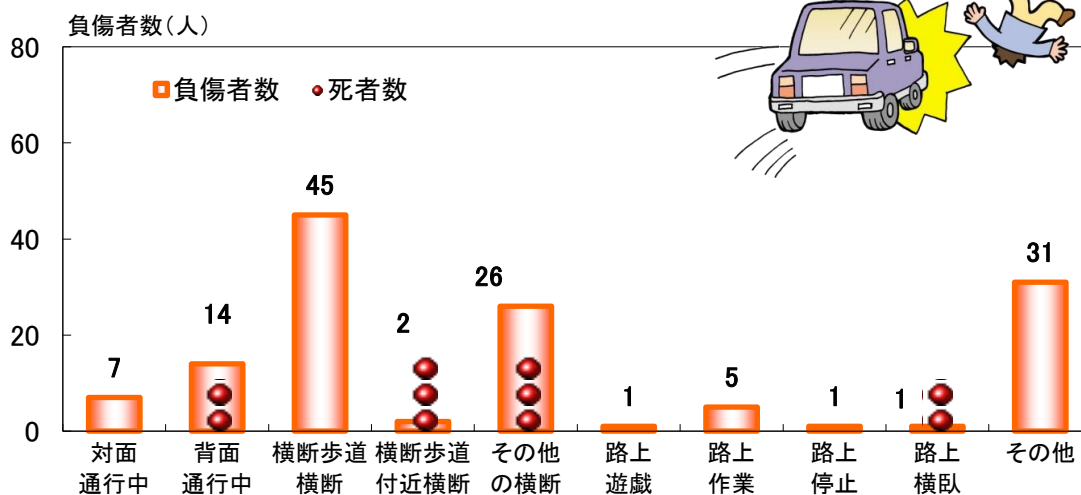
死者数・負傷者数とも高齢者が多い



	幼児	小学生	中学生	高校生	他少年	20代	30代	40代	50代	60～64代	高齢者	計
合 計	4	12	2	5	2	11	12	15	14	7	59	143
死者数					1	1		1			7	10
負傷者数	4	12	2	5	1	10	12	14	14	7	52	133

(3) 事故類型別死傷者数

発生件数、負傷者数とも横断歩道横断中の事故が多く、死者数は横断歩道付近横断とその他の横断が多い。



	対面通行中	背面通行中	横断歩道横断中	横断歩道付近横断	その他の横断	路上遊戯	路上作業	路上停止	路上横臥	その他	合計
発生件数	7	15	41	5	27	1	3	1	3	30	133
死者数		2		3	3				2		10
負傷者数	7	14	45	2	26	1	5	1	1	31	133

(4) 歩行者の違反別死傷者数

死傷者の25.2%に何らかの交通違反があり、車の直前直後横断の違反が多い。

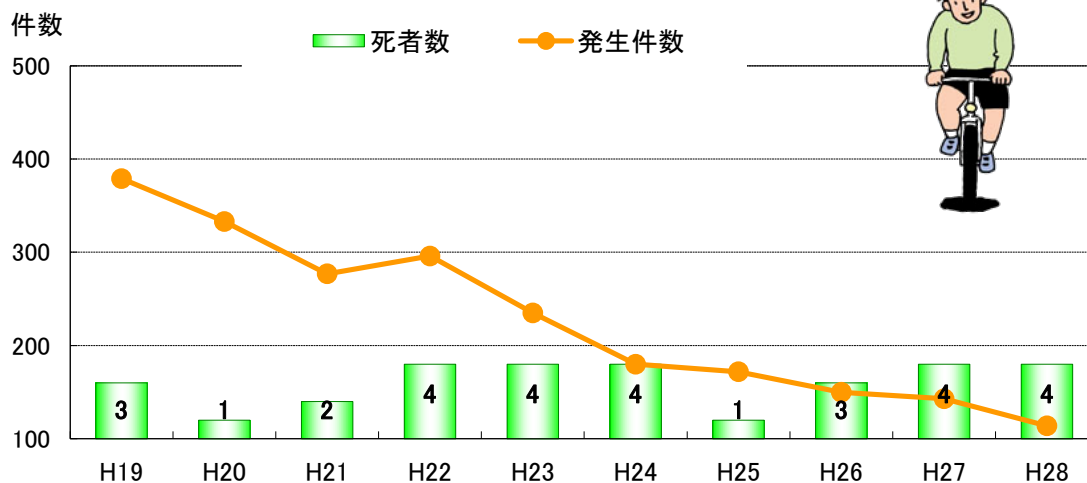


	信号無視	通行区分違反	横断歩道外横断	斜め横断	車の直前直後横断	横断禁止場所横断	めいてい等	飛び出し	その他の違反	違反なし	合計
死者数	1	1	1		3				1	3	10
負傷者数	4	1	4	1	9		2	6	2	104	133

6 自転車の交通事故

(1) 自転車の交通事故の推移

発生件数は平成27年より減少したが、死者数は前年と同じであった。



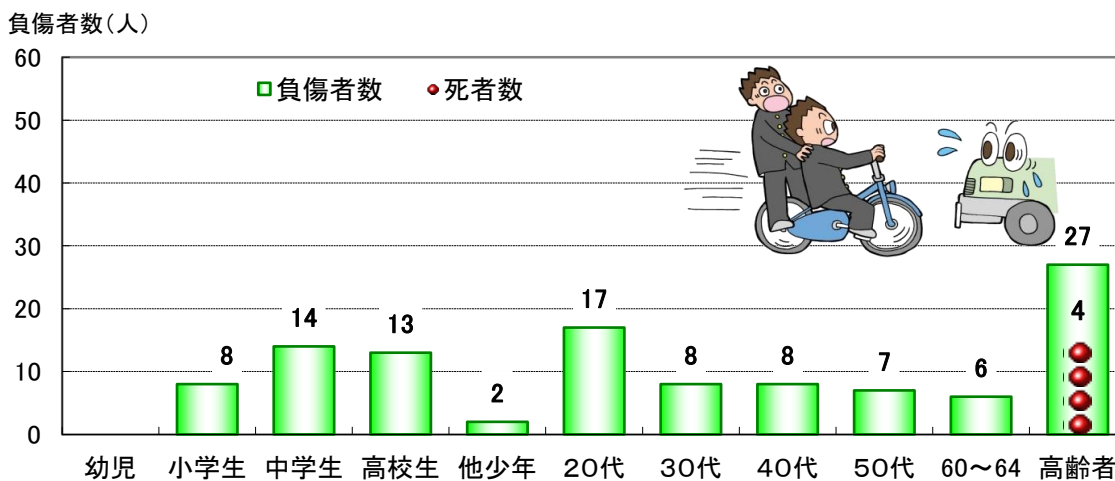
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
発生件数	379	333	277	296	235	180	172	150	143	114
死者数	3	1	2	4	4	4	1	3	4	4
負傷者数	371	336	272	291	233	177	169	147	139	110

※ 発生件数は自転車が当事者となった交通事故の件数

※ 死者数、負傷者数は自転車乗車中の人数

(2) 年齢層別死傷者数

死傷者数は、高齢者が最も多い。

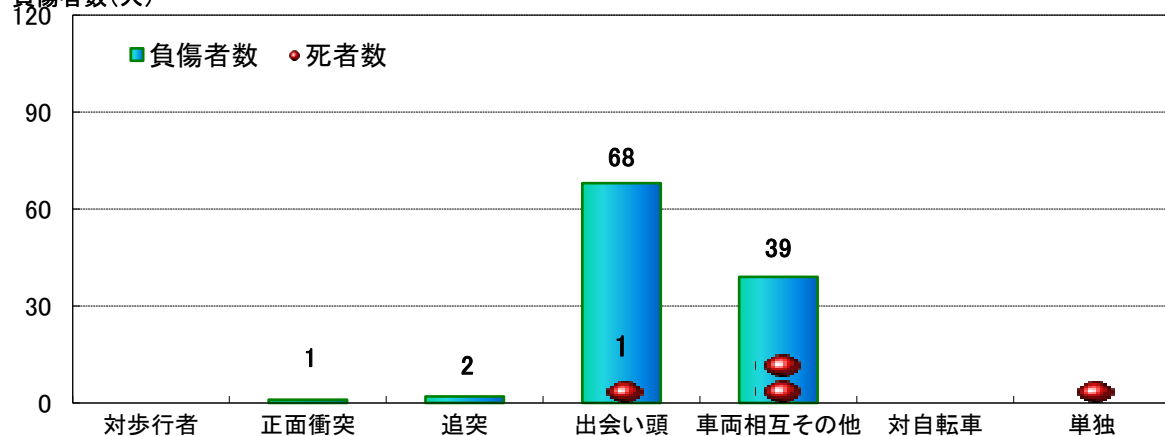


	幼児	小学生	中学生	高校生	他少年	20代	30代	40代	50代	60～64	高齢者	合計
合 計		8	14	13	2	17	8	8	7	6	31	114
死者数											4	4
負傷者数		8	14	13	2	17	8	8	7	6	27	110

(3) 事故類型別死傷者数

出会い頭が最も多く、半数以上を占めている。

負傷者数(人)

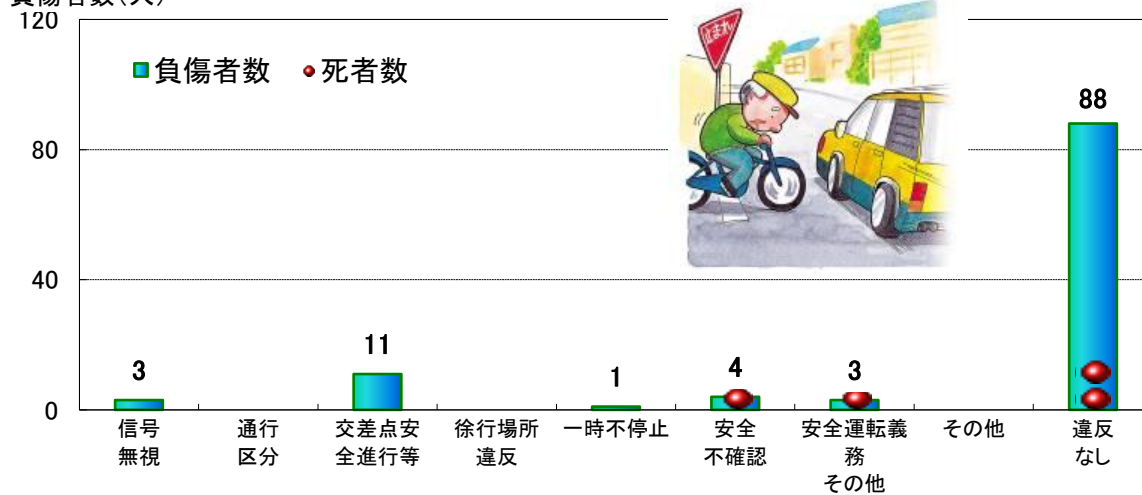


	対歩行者	対車両事故					単独	合計	うち同乗中
		正面衝突	追突	出会い頭	対自転車	その他			
発生件数	1	1	2	68		41	1	114	
死者数				1		2	1	4	
負傷者数		1	2	68		39		110	

(4) 自転車の違反別死傷者数

自転車の21.1%に違反があり、交差点安全進行義務違反等が多い。

負傷者数(人)

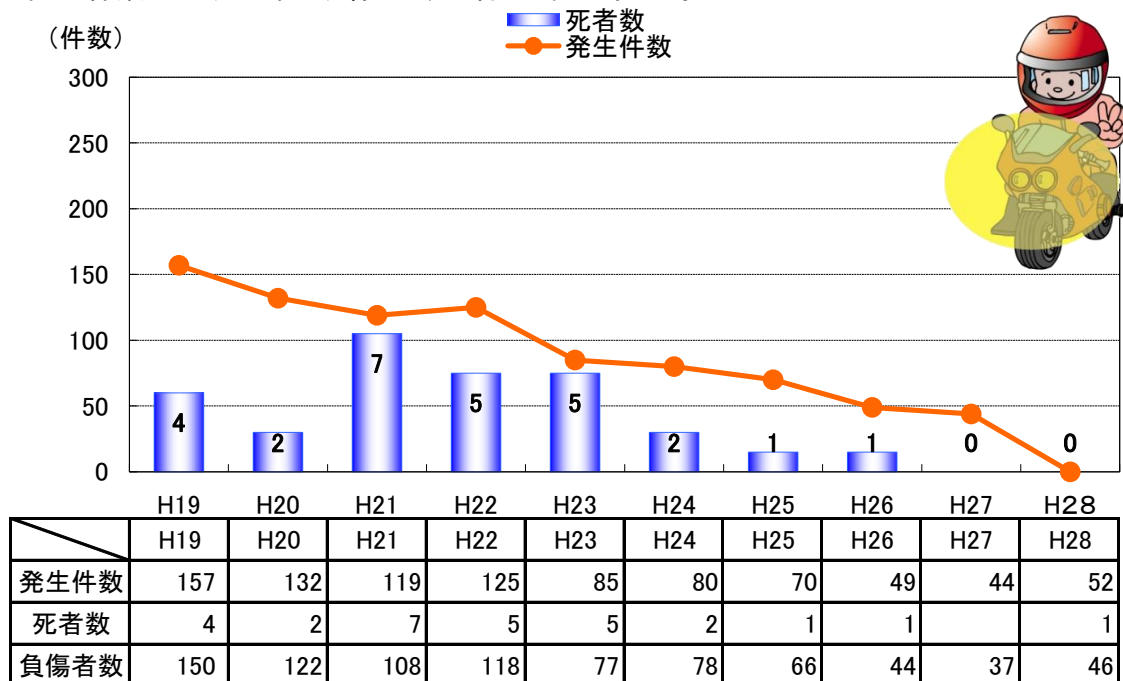


	信号無視	通行区分	交差点安全進行等	徐行場所違反	一時不停止	安全運転義務		その他	計	違反なし	合計
						安全不確認	その他				
死者数						1	1		2	2	4
負傷者数	3		11		1	4	3		22	88	110

7 二輪車(自動二輪・原付)の交通事故

(1) 二輪車の交通事故の推移

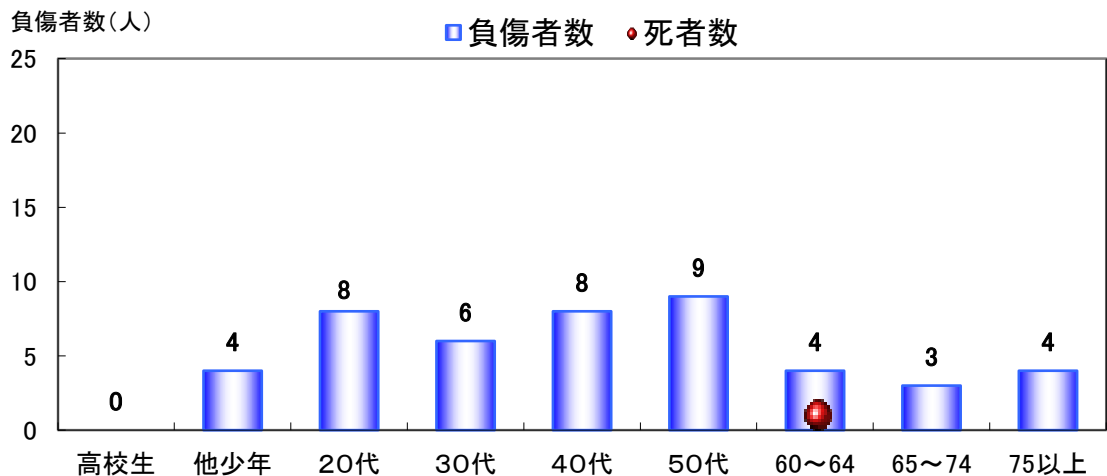
発生件数は平成27年より増加し、死者は1名であった。



※ 発生件数は二輪車事故の件数、死者数、負傷者数は二輪車乗用中の人数

(2) 年齢層別死傷者数(二輪車乗車中)

死傷者数は50代が最も多く、次いで20代、40代が多い。

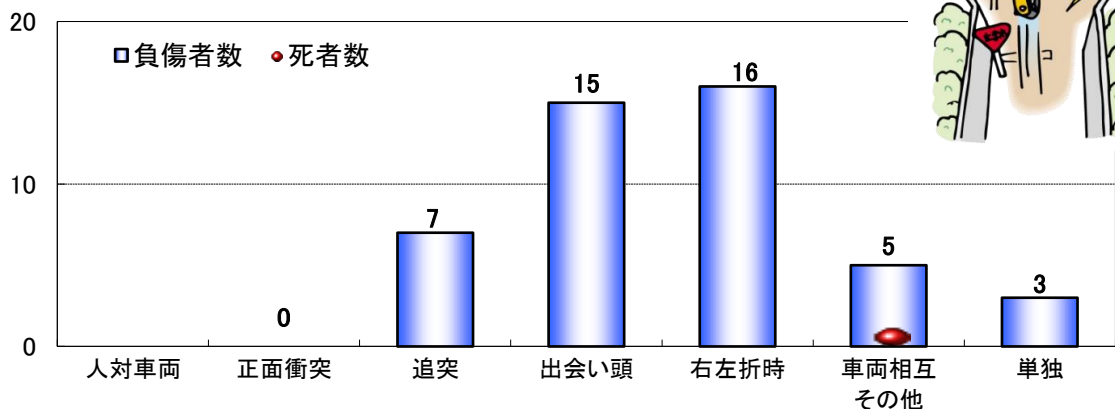


	高校生	その他の少年	20代	30代	40代	50代	60～64	高齢者		合計
								65～74	75歳以上	
発生件数		4	10	6	7	9	6	3	7	52
死者数							1			1
負傷者数		4	8	6	8	9	4	3	4	46

(3) 事故類型別死傷者数

車両相互による出会い頭と右左折時の事故が多い。

負傷者数(人)



	人対車両	車両相互					単独	踏切	合計	うち同乗中
		正面衝突	追突	出会い頭	右左折時	その他				
発生件数	1		9	17	16	6	3		52	
死者数						1			1	
負傷者数			7	15	16	5	3		46	

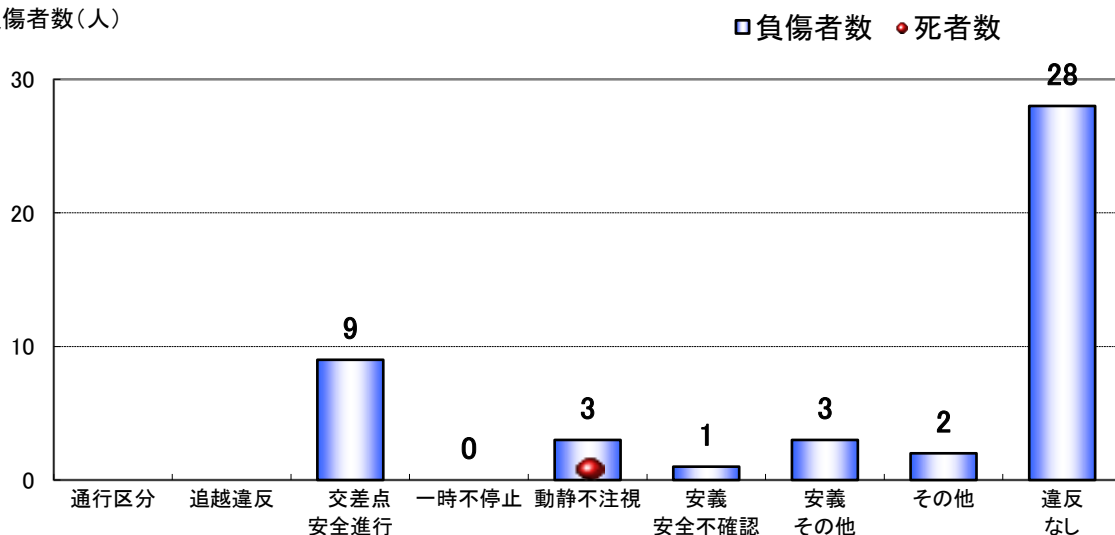
※ 発生件数は二輪車事故が当事者となった事故の件数

※ 死者数、負傷者数は二輪車乗用中の人数

(4) 二輪車の違反別死傷者数

二輪車の40.4%に違反があり、交差点安全進行義務違反が多い。

負傷者数(人)



	通行区分	追越違反	交差点安全進行義務	一時不停止徐行違反	安全運転義務			その他	違反なし	合計
					動静不注視	安全不確認	安義その他			
死者数					1					1
負傷者数			9		3	1	3	2	28	46

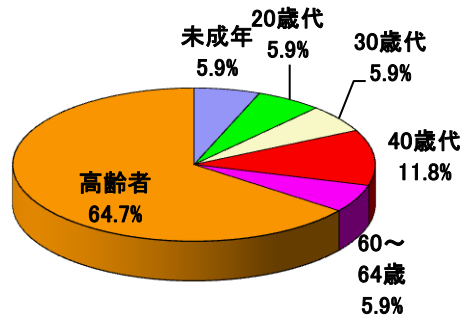
8 交通死亡事故発生状況

(1) 年齢層別・状態別死者数

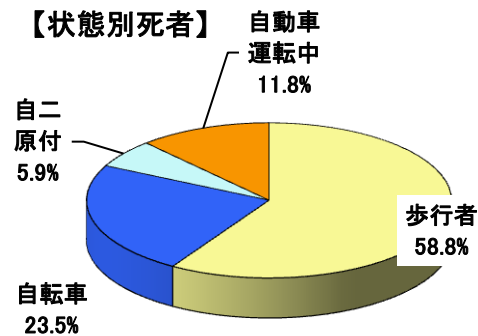
年齢層別では、高齢者が11人(64.7%)で最も多い。

状態別では、歩行者が10人(58.8%)で最も多く、次いで自転車の順となっている。

【年齢層別死者】



【状態別死者】

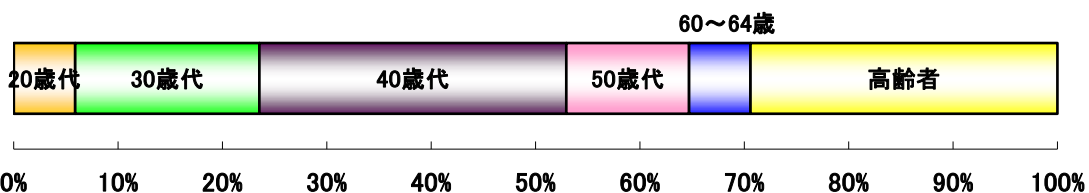


	子ども	高校生	他の少年	20代	30代	40代	50代	60～64歳	高齢者	合計
歩行者			1	1		1			7	10
自転車									4	4
自二・原付								1		1
自動車運転中					1	1				2
自動車同乗中										
その他										
合計			1	1	1	2		1	11	17

(2) 第1当事者の年齢層別・状態別件数

年齢層別では、40代と高齢者が5件と最も多い。

当事者種別では、自動車運転中が94.1%を占める。



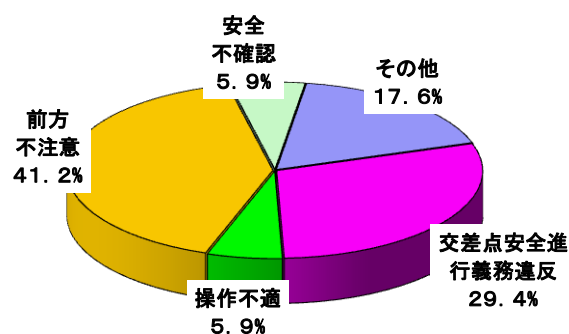
	高校生	他の少年	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
自動車			1	3	5	2	1	4	16
自二・原付									
自転車								1	1
歩行者									
その他									
合計			1	3	5	2	1	5	17

※ 他の少年とは、19歳以下で子ども、高校生を除いたもの

(3) 第1当事者の違反別件数

違反別では、前方不注意が41.2%で最も多い。

【第1当事者の違反別】



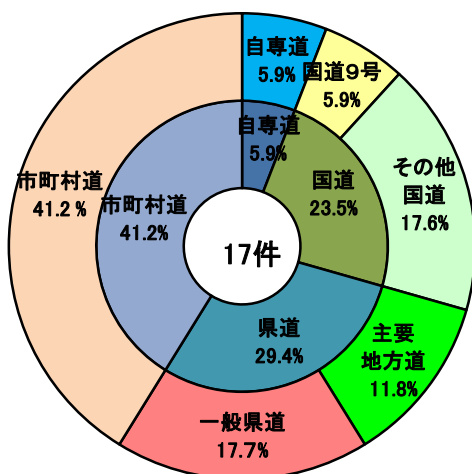
	最高速度	交差点安全進行義務違反	歩行者妨害	操作不適	前方不注意	安全不確認	安全速度	予測不適	動静不注意	その他	合計
件数		5		1	7	1				3	17

(4) 路線別・道路形状別件数

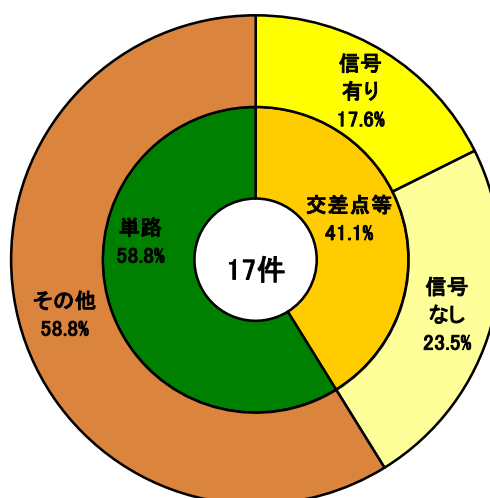
路線別では、市町村道が41.2%で最も多い。

道路形状別では、単路での事故が58.8%で最も多い。

【路線別死亡事故】



【道路形状別死亡事故】



	高速道	自専道	国道				県道	市町村道	その他	合計
			9号	29号	53号	その他				
件数		1	1	1		2	5	7		17

	交差点等				単路				踏切	その他	合計
	信号有り	信号なし	交差点付近	計	トンネル	カーブ	その他	計			
件数	3	4		7			10	10			17

平成28年版
図解交通年鑑

鳥取県警察本部交通部交通企画課

鳥取市東町1－271 TEL 0857-23-0110
